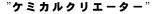
SELECTOR

技術資料

添加剤+調整剤によるゲルタイム設定





概要

ゲルタイム設定を3分以上にする場合、別途添加剤が必要になります。この場合の配合例と性能を記載した資料です。

1. 添加剂物性

外観	рН	新比重	溶解性	臭気
白色粉末	12.0±0.5(B液濃度)	2. 7	懸濁液	なし

2. 添加剤 荷姿

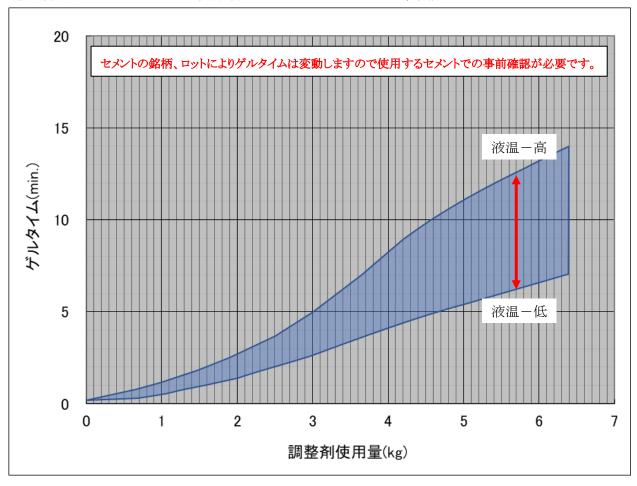
10kg 紙袋入り

3. 配合

	A液(2000)		B液(200ℓ)	
普通セメント	2 5 kg×5袋	$1~2~5\mathrm{kg}$	硬化剤 SE2 20kg×1袋	$20\mathrm{kg}$
促進剤	1 2 kg×1袋	$1~2\mathrm{kg}$	添加剤 10kg×1袋	$10\mathrm{kg}$
			調整剤 : 1分配合	1.3 kg
			: 3 分配合	3.0 kg
			: 5 分配合	$4.2\mathrm{kg}$
水		155.10	水	適量

^{※5}分を超える配合設定も可能ですがゲルタイムが不安定になります。

4. 調整剤使用量とゲルタイムの関係(液温5℃~40℃のゲルタイム範囲)



調整剤使用量が多くなると液温によるゲルタイム変動が大きくなり、液温が高くなるほどゲルタイムは長くなる傾向にあります。

5. 配合例

1) 瞬結

	A液(200l)		B液(200ℓ)	
普通セメント	2 5 kg×5袋	$1~2~5\mathrm{kg}$	硬化剤 SE2 20kg×1袋	$20\mathrm{kg}$
促進剤	1 2 kg×1袋	$1~2\mathrm{kg}$	添加剤 10kg×1袋	1 0 kg
			調整剤	O kg
水		155.10	水	191.10

液温とゲルタイム(sec.)の関係

液温(℃)					
5	1 0	2 0	3 0	3 5	4 0
9 ~ 14	9 ~ 12	8 ~ 10	$6 \sim 7$	$6 \sim 7$	$6 \sim 7$

短時間一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(min.)				
2	1 0	3 0	6 0	
0.03 ~ 0.06	$0.04 \sim 0.09$	0.04 ~ 0.11	$0.05 \sim 0.13$	

一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(day)				
1 3 7 28				
$0.8 \sim 0.9$	1.2 ~ 1.4	$1.5 \sim 1.7$	1.8 ~ 2	

2) 1分

	A液(200l)		B液(200ℓ)	
普通セメント	2 5 kg×5袋	$1~2~5\mathrm{kg}$	硬化剤 SE2 20kg×1袋	$20\mathrm{kg}$
促進剤	1 2 kg×1袋	$1~2\mathrm{kg}$	添加剤 10kg×1袋	$1~\mathrm{Okg}$
			調整剤	1.3 kg
水		155.10	水	1900

液温とゲルタイム(sec..)の関係

液温(℃)					
5 10 20 30 35 40					4 0
$40 \sim 75$ $40 \sim 60$ $40 \sim 60$ $30 \sim 50$ $50 \sim 60$ $60 \sim 70$					

短時間一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(min.)				
2	1 0	3 0	6 0	
$0.02 \sim 0.04$	$0.04 \sim 0.12$	$0.05 \sim 0.17$	$0.06 \sim 0.21$	

一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(day)				
1 3 7 28				
$0.5 \sim 0.7$	$1.0 \sim 1.2$	$1.2 \sim 1.4$	$1.6 \sim 1.8$	

3) 3分

	A液(200l)		B液(200ℓ)	
普通セメント	2 5 kg×5袋	$1~2~5\mathrm{kg}$	硬化剤 SE2 20kg×1袋	2 0 kg
促進剤	1 2 kg×1袋	$1.2\mathrm{kg}$	添加剤 10kg×1袋	1 0 kg
			調整剤	3.0 kg
水		155.10	水	188.70

液温とゲルタイム(min.)の関係

液温(℃)					
5 10 20 30 35 40					4 0
$2.5 \sim 3$	$3 \sim 3.5$	$3 \sim 3.5$	$3.5 \sim 4$	$3.5 \sim 4$	4.5 ∼ 5

短時間一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(min.)				
10 30 60 120				
$0.03 \sim 0.06$	$0.04 \sim 0.11$	$0.05 \sim 0.15$	$0.08 \sim 0.23$	

一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(day)				
1 3 7 28				
$0.4 \sim 0.7$	$0.9 \sim 1.2$	1.1 ~ 1.5	$1.5 \sim 1.8$	

4) 5分

	A液(200l)			B液(200ℓ)	
普通セメント	2 5 kg×5袋	$1~2~5\mathrm{kg}$	硬化剤 SE2	20kg×1袋	$2~0\mathrm{kg}$
促進剤	1 2 kg×1袋	$1~2\mathrm{kg}$	添加剤	10kg×1袋	$1~0\mathrm{kg}$
			調整剤		$4.2\mathrm{kg}$
水		155.10	水		187.70

液温とゲルタイム(min.)の関係

液温(℃)					
5 10 20 30 35 40					4 0
4.5 ∼ 5	$4.5 \sim 5$	$6 \sim 7.5$	6 ~ 8.5	6 ~ 9	6 ~ 9

短時間一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(min.)				
10 30 60 120				
$0.01 \sim 0.02$	$0.04 \sim 0.06$	$0.06 \sim 0.09$	$0.08 \sim 0.17$	

一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(day)				
1 3 7 28				
$0.6 \sim 0.7$	$1.1 \sim 1.2$	1.3 ~ 1.4	$1.5 \sim 1.8$	

5) 10分

	A液(200ℓ)		B液(200l)	
普通セメント	2 5 kg× 5 袋	$1\ 2\ 5\mathrm{kg}$	硬化剤 SE2 20kg×1袋	$20\mathrm{kg}$
促進剤	1 2 kg×1袋	$1~2\mathrm{kg}$	添加剤 10kg×1袋	1 0 kg
			調整剤	6.4 kg
水		155.10	水	185.90

液温とゲルタイム(min.)の関係

液温(℃)						
5 10 20 30 35 40						
7 ~ 9	$7 \sim 9 + 7 \sim 9 + 8 \sim 10 + 8 \sim 10 + 10 \sim 12 + 12 \sim 14 + 12 \sim 14$					

短時間一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(min.)				
3 0 6 0 1 2 0 2 4 0				
0.01 ~ 0.02	$0.02 \sim 0.04$	$0.03 \sim 0.06$	$0.05 \sim 0.1$	

一軸圧縮強度(N/mm²)

材令(day)				
1 3 7 28				
$0.06 \sim 0.3$	$0.5 \sim 0.9$	$0.7 \sim 1.1$	$1.1 \sim 1.6$	